



第6回 交流会

◆ 小網代の春を探す！

聞いて、探して、見つけて、絵でがみも描きましょう



2017年4月29日（土・昭和の日）

第6回交流会のテーマは小網代の春を探す！ 聞いて、探して、見つけて、絵手紙も描きましょうという盛りだくさんの内容が通信に示されていました。さえずり・花・香り・蛙の声・全身に春を感じてリフレッシュしましょうとも。

どうやってこの複雑な内容を皆さんと共有できるかしばらく考えましたが、やっぱりこれっきゃない、小網代の森を守る会時代に試みた5感を磨くネイチャービンゴだ！今回は下見の時に見つけた春を交流会にも皆さんと共有したいと考えて、見

つけて欲しい春を8つ、掲げて歩きました。見つけ次第声に出して共有しましょう。最後まで5感をフル活用、「これって流行りの脳トレよ」と呼びかけて。

題して

春！まっさかり 小網代の森 ネイチャービンゴ

- ① 春においでと誘う鳥・・・ちょっとこい コジュケイ 外国人はピープルプレイと聞きなすそうです。
- ② 春の妖精・・・ ツマキチョウ（イヌガラシが食草 2週間ほどしか命がないとか）
- ③ 雄は茶色、雌は透明、たまに雄がメスの振りして透明の羽を持つ。（最近名前がアサヒナカワトンボと変わった）
- ④ ^{ウグイス} 鶯の巣を探して托卵する鳥・・・ホトギス 5月半ばには三浦半島に飛来していると思われます。
- ⑤ 春の妖精青い花・・・フデリンドウ これは一部の場所にしか生えていないのです。
- ⑥ 月夜のたんぼでコロコロとなく・・・シュレーゲルアオガエル 名づけたドイツ人が自分の恩師の名前をつけたんだとか。
- ⑦ 生まれたてのナナフシの子・・・1週間まえの下見で見つけたけれど、果たして今日はどこに？
- ⑧ でたてのヤマユリの茎・・・花はすぐに分かるけど茎を想像できますか？

この8つの発見？を目標にして歩き始めました。参加者は全部で12名。もう目、口、耳がランランと輝きます。今回は特に植物がお好きなHさんがゲスト参加されて、最初の階段から色々教えてください大活躍。Hさんが詳しく書いて下さったので、次の紙面で紹介します。残念ながら紹介はヤナギテラスまでなのですが・・・。

アサニトコ ハムシ仲間 ハンゲショウ ヤシダ リョウメンシダ 芽生え
ハナキツツ ウリハムシ フラビ ホシキリ ナルコユリ ナルコユリ

春！まっさかり 小網代の森 ネイチャービンゴ 17. 4. 29

森らしさを求めて 五感 いや六感を研ぎ澄ませましょう！空間は8個ここに好きな順に①春においでと誘う鳥 コジユケイ ②春の妖精ツマキチョウ ③雄は茶色、メスは透明たまにはメスのふりする透明雄アサヒナカワトンボ ④鶯を探して托卵鳥ホトトギス ⑤春の妖精青い花フデリンドウ ⑥月夜の田んぼでコロコロと鳴く蛙シュレーゲル ⑦生まれたてナナフシの子 ⑧ 出たてヤマユリの茎

見つけ次第、声を出してください。みんなで最後まで五感のフル活用、これは近頃流行りの脳活です。

② つばめ	ホウチャクソウ みどりの釣鐘	ウグイス ヤブに耳	⑥ ツボシミ 増えている
⑧ 赤い落ち葉 クスノキ	④ メジロ	春！ まっさかり 小網代の森	① 瑠璃唐草 星の瞳 オオイヌノフグリ
④ てんとうむし 幼虫 蛹	アスカイノデ 細い アスカ 太い 三浦 混ざり イノデ	⑦ ムラサキケマン 種飛ばし	⑤ セキショウ 花のこり
③ (射干)	カワニナ 誰の餌？		

ともあれ、何か見つけるたびに大きな声で、森の中ほどこでほとんどの方がビンゴ！ヤナギテラスで賞品を受け取りました。守る会時代の販売品の残りのレアものばかり！

エノキテラスまではシュレーゲルの声を聞き、サラサヤンマやツマキチョウを見つけながら歩きました。ここでまとめをしたかったのですが、ここは静かにという気持ちが大きくなってお弁当だけに終わってしまいました。この紙面をお借りして・・・。

新しい発見や教えてもらったこと・・・。クサニワトコ（ソクズ）、リョウメンシダの芽生えがコゴミゼンマイそっくりなこと、カニの巣穴の回りにある苔はジャゴケという名前。

お久しぶり・・・ナルコユリ2株、以前とは違う場所に。

刈り取られ残ったノイバラにヒメクロオトシブミのゆりかごが。

求めた8つの春はツマキチョウとホトトギスが未発見でしたが、参加者全員がビンゴになりました。ちなみに我が家では5月19日の夜にホトトギスの声を聞きました。今年は渡りが遅くなったのでしょうか。



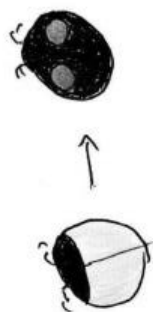
フデリンドウ



昆虫が見つかる度にMさんに教えてもらい 見慣れない植物はゲストのHさんに教えてもらい 和気あいあいの楽しい交流会でした。そうそう毎年参加のKさん親子はどんどんマイペースで歩かれ、私達を抜いて行きました。先頭歩きから新しい森情報を発信していただき、穏やかに交流会が進行する助けをしていただきました。参加の皆さん、素敵な一日を有難うございました。

「久しぶりの小網代」より3〜7ページ抜粋

十時半に水道広場へ到着。これで全員が勢揃い
 チョットコイ！森へ誘う小綬鶏の 後に大きな画眉鳥の声
 順番制で本日担当のM. Mさんから挨拶と行程などの説明
 今日の目的は「五感を澄ませて小網代の春を探す」
 見て聞いて香り確かめ味わって？心で春を感じ歩こう
 手渡されたのは「ネイチャービンゴ」の用紙
 植物や動物の名などが記され八個の空欄あり
 空欄は観察対象の1〜8の番号を自由に記入
 素敵な解説付きの初めてのユニークなビンゴ
 何も持たない私は番号等記入の為に鉛筆を拝借
 全員が五感使って歩む森 左右を眺め脳活タイム
 階段の脇の草地に蒲公英や 瑠璃唐草や射干など見つけ
 階に散り敷く葉っぱ 赤いのは香り清しい 楠落葉
 並天道虫の羽化して日の浅い黄色っぽい 虫も飛来
 七節の子供は大人のミニミニ版 手摺の縁をゆつくり歩み
 山百合の元気な株が去年の 実殻の脇に出ている草地
 面白い枝の出方で水木だと 分かる若木の立つ川のそば
 枝を大きく広げたニワトコに花後の小さな青い実
 まだ花の残る紫華鬘の実を弾くと面白い！とM. Mさん
 手で弾いても効果なし。ビンゴの用紙を使って成功した誰か
 熟した実から細い糸を引いた緑色の種がポン！と飛び出したのだ
 鶯の聲が上から聞こえる みんな喜んで丸印付け
 少しずつピンクの花を開き始めた塔花も道端の飾り
 アスカイノデの多い谷。紅色葉が目立つのは紅シダ
 紫華鬘の実を下から上へ撫で上げて遊んだひととき
 ポンポンと身を弾いては丸い種 楽しく飛ばす幼に返り
 川そばの湿った崖にびっしり付いた蛇苔（丸い穴は蟹ハウス）
 慎ましい緑色っぽい花を下げた宝鐸草
 名を聞かれたのは緑色の穂を付けた救珠香
 坪葦（如意葦）と蛇母の花が同居していた草地
 念願の筆電胆の青い花 羊歯に守られ奥へと移動
 この花が守られる様祈りつつ 写真に納め心に納め
 紙見れば二か所も丸が横並び M. Mさんに見せたらビンゴ



ナミデントウ

成虫前の姿を見られました!!



爽やかな
香りの残る
楠の
落葉散り敷く
下り階段

トンボのエクリプス(メスによく似た姿をする)



透明な羽根でも

縁紋が茶色や黒で

メスとの区別が出来る

メスの羽根は透明で
縁紋は白色だそうです!!

白ダモ<クスノギ科シロダモ属>

雌雄異株です(赤い実が付くのは雌木)



ロケットの様な若葉に

銀色の毛がびっしりと

生えて柔らかい

草質になると
固くつややか
裏面は白い!!

ビンゴ用紙の“ウサギの耳の手触り”

とても上手な表現ですね!!

(花や虫を探すのに夢中でビンゴに気付かなかった)

逞しい大型の羊歯は三浦イノデ(茎の茶色の鱗片も多い)

一寸見は蕨の様でも細かい毛を纏う画面羊歯の出始め

飛来した朝比奈川トンボはアスカイノデの葉で一休み

おかげで皆がゆっくり観察出来た雄トンボの姿

透明羽根に黒い縁紋のトンボも金属光沢あり雄らしい

左の湿地に大群落をなした半夏生の若い株

そのまんまオブジェの様な大岩を盆栽の如く飾る羊歯類

草地の中にヌンと背を伸ばした草ニワトコ(ソクズ)

群生した蠅毒草の中心に僅かに出始めた花茎

右手の三つ葉や藪人参などの草地に本物の「蕨」

(画面羊歯の出始めの茎と比べて貰えて良かった)

足下に花がまだ残った石菖を見つけて観察

左手に大群落となった草草の涼しげな若葉

左下の草地に蕾の付いた大辛子(透し田生勢では無い)

艶のある黄色い花が目立つ狐の牡丹の群落

香り高い三つ葉や藨の自生している草地

花が白い種漬花の多く出ている木道脇の湿地

(一見、別種に見えても花が白いのは種漬花)

藨の葉に綺麗な朝比奈川トンボ 何度会えても嬉しいトンボ

標高は16.5M。まだ榛の木平に居る私達

右手の細い川に転がる川ニナは数が減っている

(川ニナを食べたのは洗熊の仕業?とT. Mさん)

スラリとした榛の木の先は明るい湿原

草地に落ちた真っ赤な細長い葉の主は定家葛

八手の様に葉が深く九裂した針桐の若い株は珍しい

私達に馴染みの餅を包める針桐は浅く五く七裂

枝を引いて貰い手触りを確かめた白ダモの若葉

赤っぽい雌花が咲いたコウソ(姫コウソとも)

姿の無かったエゴノキ。大きく育った蛇柳の若い幹

蕾の花茎を伸ばした空木。春紫苑も満開だと見事

朝比奈川トンボのメス?と思いきや雄のエクリブス

この森には鬼田平子ばかり(子鬼田平子は水田)

笹の中の春蘭はたった一株(無事を祈るだけ)

(似ていても属が違いま〜す!!)

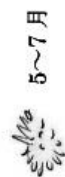
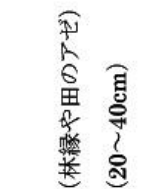
《キク科ヤブタビラコ属》

子鬼田平子(田平子)

若葉は正月に七草の一つとして食べますね

鬼田平子

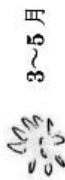
(春の七草のホトケナザ)



頭花は8mm



瘦果は2.5mm



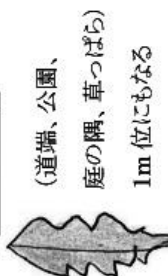
頭花は1cm



瘦果は4.5mm

鬼田平子

《キク科オニダビラコ属》



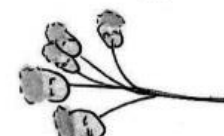
花は直径7~8mmと小さくて多数咲く



瘦花に白い冠毛あり

狐薊(キク科キツネアザミ属)

アザミに似た花を咲かせます
でもね、刺は無いんですよ!!



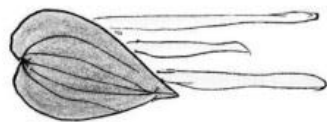
(道端や空地、草原、田畑などに見られます)

(頭花は2.5cm位でピンク色)

5~6月に咲く優しい花です)

先週と先々週見られたという榊黄蝶はもう居ない
 その代わり楽しそうに飛び交うのは筋黑白蝶
 陽射を浴びた樹冠から下がる藤に開き始めた花
 咲き始めた山ツツジの大きな株は健在で安堵
 小さな株にはオレンジ色の花が満開で感動
 柳テラスへの広い爽やかな草地は暑いほど
 左奥に一輪見つけたレンゲの愛らしさ
 ご用が有り帰られた素敵な詩人のY. Nさん
 柳テラスで一休みしたら絵手紙用紙を渡され困惑
 サインペンと色エンピツを貸してくれたので初挑戦
 大好きなレンゲと割りにかつた白蝶を描き終了
 私に止まった黒アゲハは羽根の一部が破損
 洋服で少し休んだら無事に飛び立った蝶
 血圧低下？急に眠気が襲い十五分ほど寝たらスツキリ
 小さな発泡スチロールに皆の名一字を彫っていたM. Mさん
 私も「ひ」を押して貰った。絵手紙は全部で七枚完成
 皆様の作品を並べて撮影（内容の濃い交流会ですね）
 H. Nさんの筆竜胆の絵手紙と交換（とても素敵な記念品）
 ビンゴの景品で貰った可愛い蟹の置物（全員にご褒美あり）
 出会えなかったのは燕、ホトトギスの声と榊黄蝶だけ
 （燕は三崎口駅に居たけれど森では見なかった私）
 よその人に集合写真を撮って貰い一時頃出発

フクロウササギ
風藤葛（コシヨウ科コシヨウ属）



雄花
黄白色



海岸近くの林が好き!!

節から気根を出して岩や木に這い上がってゆく

(地面に這っているうちは花を付けません)



(12～3月に赤く熟す実は薬用になります)

H. H 記

(エノキテラスの山側の草地にまとめて植えられていました)

ウマノアシタタキ
馬の脚形（キンボウゲ科キンボウゲ属）
別名金鳳花



とてもツヤのある
黄色の花

園芸種もあるので、
区別はどこでするのでしょうか？

クレソン（アブラナ科）

オランダガラシ
阿蘭荳子

ヨーロッパ原産



白い十字形の花を
沢山つけていました

(サラダで肉のつけ合わせで……
良く利用されますね!)



随想 小網代てんてん (26)

花の階段 — ミズキ

須田漢一

木が輝くとは、どんなときだろう。

早春。とがった新芽がふくらむときだろうか。それとも淡い若葉が枝先でふるえているところなのか。初夏にかけて、多彩な色と形の花を咲かせているときなのか。盛夏。強い光の中で深緑の葉を茂らせるころだろうか。秋。葉が、黄、茶、赤と色づくとき、か。冬。本来の樹形がはつきりわかる、立ち姿をいうのか。

— 5月、引橋の台地上から小網代の谷を見下ろすと、いちめん緑におおわれた森の中に白い花を、あちらにも、こちらでも目にする。

ミズキである。

植物の分類(その他も)が苦手な私にも、その独特な枝ぶりから、一目でミズキとわかる。5月から6月頃、水平にひろがった枝の先に白色で4弁(十字形)の小花を多数開く。ひとつずつの花は小さなものだが、それが集まって、散房状にこんも

りしているのだから、いやでも華やかに見える。

山野にごく普通にあるミズキは、高さが10メートルから20メートルにもなるのに、花の咲いていないときは、他の木に埋もれたようで、目立たない。

戦後、燃料不足から、日本中どこにも共通したことだろうと思うが、三浦半島でも多くの林が伐られ、ミズキも薪炭や建築材として近郊へ送られた。下草や低木は焚き付けとして刈られ、その周辺は明るくなった。空いた土地へ最初に侵入したのは一年草、次に多年草、順を追って低木が生え、やがて、埋もれていたミズキの実が芽生え、成長し、そこからまた新たな種子が生育して、林をつくった。それが、いま、壮年期を迎え、小網代の森や武山、大楠山、子安の里、二子山稜などで大樹になっっている。

……花盛りのミズキに近づく。扇の要から伸びた枝に、たくさんの花を載せている。まるで花の階段だ。アブの羽音が聞こえてくる。カミキリムシやハナムグリもいる。ガの幼虫がやわらかな葉をむさぼっている。カメムシたちは脹らんだ

果実に口吻をさしこんで汁を吸う。やがて10月のころ、紫黒色に熟したこの果実を、ヒヨドリがたらふく食うだろう。

葉の落ちた冬 — 小枝は鮮やかな赤褐色に燃える。東北地方はもとより、関東の一部でも、その枝に白い餅玉を刺して、正月の飾りをつくった。鳥たちはその御裾分けにあずかり、ひとときの生命をつないだ。それはマユダマノキ、メーダマノキと呼ばれ、新しい年をむかえる氣持をわかせてくれた。

ミズキは、花も、葉も、果実も、昆虫や鳥たちの命を助けた。ミズキの多い東北地方では、なめらかで、白く、削りやすいこの木を、「こけし」の材料にした。また、俗に柳箸といわれる正月の祝箸は、ミズキの材が使われた。このように人の祭り事にも欠かせない木であった。

ミズキは花の見事さだけではなく、四季おりおり、人や生き物のなかで、輝いている。

我が国の歴史上の出来事が、初めて中国の国書へ文字として登場した卑弥呼女王。それよりも更に、3300年も古い時代に王朝が確立され文字や記録が残るエジプト。それらを表徴するような巨大なピラミット群やスフィンクス、誰しも遠望しこの手で触れてみたいと思うことだろう。

エジプトの首都カイロ、アラビア語名はアル・カーヒラ、勝利の都市を意味する。世界的に有名なカイロ博物館、建物周辺の水場にはパピルス（紙の原料）が生えている。数多くの展示品の中で世界的に有名で最大級のものは、若き王ツタンカーメンの黄金のマスクである。

ピラミット群は、アフリカ大陸最大の大河ナイル川を渡りカイロから約13キロ南にある。高さは、キザのクフ146メートル。カフラー143.5メートル。メンカフラー65.5メートルの3基が並んでいる。他に有名なものでは、階段状のサッカルジエセル60メートル。いびつで傾斜角度が変わるダハシュールのスネフル105メートル等がある。確認されているピラミット群の総数は約60基、また約100基という記録もあり、一人の王が複数基のピラミットを造ったという例もあると伝えられる。

最大のクフ王ピラミットは約4500年前の建造、素材はサイコロ様の角型の石灰岩を積み重ねたもので、創建時は147メートルといわれる。この巨大な石灰岩2メートル正方形の石を、人々は灼熱の炎天下に積み重ねる作業を黙々と続けていったものである。

中央部にあるカフラーのピラミットの守護神で、大スフィンクスと呼ばれ長さが57メートル、高さは20メートル。顔が人、体はライオンで昔は砂中へ埋まっていたものを1926年に全体像を掘り出したものである。顎鬚の一部がイギリスの大英博物館へ持ち去られたと伝わる。各ピラミット周辺には、王妃王族の小型なピラミットが数多く並んでいる。

特別料金を支払い、クフ王のピラミット内部へ入ることができる。長大な鉄梯子で降りて行くので腰が痛くなるよといわれたが、私も物珍しさに入ってみる。薄暗くて、お化け屋敷へ入る気分ですごい感じがする。この穴は9世期に開けられた盗掘坑ともいわれる。



カフラーのピラミット143.5メートルとスフィンクス

小池百合子東京都知事。女子大を中退しカイロ大学へ留学、イスラムの共通言語であるアラビア語に精通、通訳もできる。40年前の在学中、Gパン姿で学友達とピラミットへ登る。強風で吹き飛ばされるというのに、頂上で和服に着替え座布団へ正座し、写真撮影した記録が残る。現在は、登頂厳禁。

イスラムの教典であるコーラン。日本語訳や英語訳もあるが、真髄に触れるには原本のアラビア語で読み理解すべきであるという。食べ物では、イスラム教はブタを汚らしいといって避ける。イスラム諸国の中国料理ではブタ肉を使わない。また、酒やビール等アルコール類は一切飲まない。インドではヒンズー教の聖なるウシを食べない。イスラエルのユダヤ教では鱗の無い魚介類（エビ、カニ、タコ、イカ等）は食べない。我が国では、精進料理を毎日食べているという人は少ないと思いますね。

- ◎ 警察官がヒトコブラクダへ騎乗して、ピラミット周辺をパトロールしている。中国や中央アジアの駱駝はフタコブラクダである。見ていると実にバランスが悪く乗り難くそう。珍しいので、カメラを向けると「チップ」を要求される。なんじゃこの国はと思う。
- ◎ エジプト名物のハト料理。野生のハト捕獲用のタワーを各所で見ると。小さな灯台に似て各所に穴が開いている。一度ハトが忍び込んだら脱出不可能。レストランで皿の上に変わり果て調理されたハトが乗っている。チキンだと思い食べてみる。
- ◎ イスラムのお正月といわれる「ラマダン明け」。旧暦なので年毎に10日短い。それが偶然にもカイロで体験。断食月（日の出から日没まで食事抜きで飲み水も否、レストラン等も昼間は休業）が明けた最初の日である。子供たちは、お年玉を貰いきれいに着飾って皆なニコニコ顔をしている。大通りへテーブルを並べ、ご馳走を飾り付け誰にでも食べて行けといってくれる。モスク（礼拝所）では、寄っておいでと声がかかる。イスラム国なのに、ここでは素顔でスカート姿の女性達が腕を組み手を振って歩いていた。

小網代を詩う

長くの思い出がここにある

次の思い出になっていく

今日の景色も 今日の友も

留める

浦の川に沿って歩く

イノデ谷の終わりあたり

新しい堰が作られたのね と

一緒に歩いていた一人がつぶやいた

切りたての木で組まれた小ぶりの堰

区切られたのは浦の川の流れだけではないこと

皆が知っているけれど

中井 由実



思い出の森

中井 由実

思い出はここにある

ずいぶん昔

息を吹きかえした私に

葉陰からほほえんでくれた ほうちやくそう

今日はまだ少し緑で 恥ずかしそう

細い谷の道で

手をつないでごらんと揺れていた アスカイノデ

私に差し出された小さな手の持ち主は

今はもつと小さな手を引いているだろうか

ウッドデッキの手すりの向こうで

柔らかに伸びている山百合の若い茎

たくさん花をつけても

もう 採られる心配はしなくていいのね

森半ばの茂みの下には

フデリンドウの鮮やかな青紫

一気に 十五年前に私を引き戻す

小網代の隅々にレンズを向け

シャッターを切っていた友人と歩いた

いつでも

中井 由実

私には まだたくさんの時間があるから

残り時間が限られてしまった友に

森歩きはここまでにして

これから会いに行く

後ろ髪を引かれるとはこのこと

こんなに森には

新しい緑が光っているのだもの

でも いい

フデリンドウに会えたから

間近に

輝くアサヒナカワトンボを見たから

懐かしい仲間 新しい仲間と

言葉交わせたから

小網代はずっと

来ていいよと言ってくれるから

質問コーナー



みんなで考えよう感じよう！自分で考えよう！考えたらいっしょに話し合おう！

第7回

今回は・・・植物は何でも知っているの巻

●話しかけて世話をするときれいな花がさいたり、おいしい実がなったりするってほんと？

話しかけるほど愛されて世話をしてもらっているからではないでしょうか。でも、ぶどうやトマトに音楽を聞かせると甘くなるというのは聞いたことがあります。痩せた土地の野菜が逞しく育つように、音の振動がストレスになって、負けずに、と美味しくなるのかな。



はる



みーちゃん

きのこ栽培の部屋でモーツァルトを聞かせて育てているのをTVで見たことがあるよ。

にわとりもモーツァルトを聴かせると、たくさんたまごを産むらしいよ。



ふあら

●植物には感情があるんだろうか？



みーちゃん

神津善行という作曲家が「植物と話がしたい」という書物を1998年講談社から出している。生体電位測定法という方法を再開発。利用してブナ林やマングローブの発信電波をコンピュータ処理して人に聞こえる音にして聞いてみたという実験の結果などが書かれている。一言で言うとその音は「入り込んではいけない世界に入り込んでしまった。略 植物界も持っているであろう規則には我々が気がつかないものや理解しがたいものが数多くあるに違いない。その一つを垣間見たと申し上げるのが一番よいご説明の仕方も知れない。マングローブのヒルギ林から取り込んだデータを音に転換して聞いた時、あまりにも面白かったので、サキソフォンの音色に転換したものを松本英彦氏に聞かせたところ「こんな演奏グループがいるのですか。日本ではないですね。後略」ピアノの音に変換して日野てるまさ氏に聞かせたところ、しばらく黙って聞き入っていたが「この人を紹介してくれませんか」と言われた。嘘のような本当の話です。

●木をきるとすぐく疲れるけど、ひょっとすると木からなにかでてる？

植物はフェロモンや電気信号を出して会話したり、虫をひきつけたりしているそうですよ。人間とは会話のしかたが少し違うだけです。傷つけられると、きっと悲鳴を上げるんでしょうね。仲間や他の細菌や虫に助けを求めているのかもしれない。植物とコミュニケーションできる能力を持っているなんて素敵ですが、できれば敵にはなりたくないですね。



はる



みーちゃん

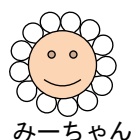
植物の根や葉には切られたりしたときに自分の身を菌類などから守る働きがあるんだって。旧ロシアのB・P・トーキン博士がフィトン(植物)チッド(殺す)と名づけたらしい。森林の中を歩くと気分がよいし、くさい匂いがしない。お寿司屋さんに行くと木の抗菌作用を存分に利用しているのが分かる。ネタを入れたショウウィンドウにはサワラ(酸化防止作用)などの針葉樹の葉がしいてある。山葵も抗菌作用のアリルイソチオシアネートがある。経木やまな板にも抗菌作用があるというよ。免疫によい作用もするという研究がされているらしい。そうだ。ヒノキの精油を購入して部屋の中を森にしてやろう。

木も切られると痛いんだね。だからあとで切り口にメントールをぬってあげるんだ。



ふあら

●花はなぜいろんな色があるの？



みーちゃん

決まっています。人も「人生いろいろ」といっているじゃありませんか。花なら当然色はいろいろです。早春に咲く花は黄色が多いなんていう方もおいでですがね。昆虫はどんな色が好きでしょうか。昆虫の目の色彩判断がどうなっているのか。研究した方もおいでだとか。モンシロチョウに蜜だけ同じにして人工で作った花の色をいろいろ変えて実験した人がいるとか。さてどんな結果がでたのでしょうか。

いろんな色があったほうが楽しいからだよ、きっと



ふあら

●どうして毒があるの？

こあじろで見かける毒のある植物：ハゼ、イラクサ、ヌルデ、テイカカズラ、ハエドクソウ、ヒガンバナ、ウラシマソウ、オニシバリ、アオツツラフジ、トウダイグサ、マユミ、ヤツデ、エゴノキ、クサノオウ、ウマノアシガタ。今度出会ったら聞いてみよう。



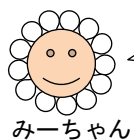
はる



ふあら

もしかすると、人間には毒でも、それが不要ないきものもいるかもしれないよ

●ハーブと薬草の違いは？



みーちゃん

西洋ではハーブ、東洋では薬草と言っているだけなのではないですか。種類も重なることがある。ウコンはターメリック、コリアンダーはパクチーなどと。この頃、薬膳と言って漢方薬を仕込んだ料理もでるよね。毎日、薬膳のカレーを食べている有名人にかのイチローさんがいるよね。主治医が見つかる診療所というTV番組の日本薬科大学の学長をしているとか言う丁先生も毎日、薬膳としてカレーを食べているそうです。二人ともとてもお元気ですね。そうだ。今夜はカレーにしよう！

ハーブは香や味で気分のよくなる植物、薬草は病気に効く植物ってことかな？
でも、お茶ももとは薬として伝わったというし、コーヒーも最初は薬だったらしいから同じ？
植物のこと考えると地球のなくてはならない仲間なんだ、うれしくなっちゃうね。



ふあら

参考書

★文春新書「植物はなぜ薬を作るのか」 斉藤和孝

帯より

それは「動かない」という選択をした植物の「生き残り」戦略だった。

ポリフェノール、解熱鎮痛薬、天然甘味料、抗がん薬までー。

なぜ、どのように植物は「薬」を作るのかを、植物メタボロミクスの専門家が最先端の研究成果で説きあかす。

★NHK 出版「植物は〈知性〉をもっている」

ステファノ・マンクーゾ+アレッサンドラ・ヴィオラ

★河出書房新社「植物はそこまで知っている
---感覚に満ちた世界に生きる植物たち」

ダニエル チャモヴィッツ

★ベレ出版「植物の体の中では何が起きているのか」 嶋田幸久・萱原正嗣

※Amazon で人気があり、簡単に入手できる本を挙げました。ほかにも面白い本がありましたらぜひ教えてください！

おもしろ Q&A の Q も A もひきつづき、募集しています！！

◆投稿先 eメールで：watashitachino@mori-club.com

◆ファクスで：03-3774-9704 ファクス専用機です。24 時間受信可能！

◆交流会でスタッフへ手渡しで

企画：森くらぶスタッフ
進行：会員のみなさま

三浦半島の植物

今回は 2011 年 5 月の作品「ノイバラ」をご紹介します。

小網代の森の中にもわずかに残されています。園芸種のバラのようにゴージャスな外見ではないけれど、強く爽やかな香りを感じていただけたでしょうか。

ノイバラ 2011 年 5 月



その昔
道パトと称して
冬の森を縦横無尽に歩いていた
ノイバラは
干潟への近道をさえぎる
意地悪な垣根だった
やってきた春に咲く白い花を
今は水を含んだ湿地が
私たちから遠ざける
ここにその姿を映し出した

画 野内眞理子
詩 中井由実

●●●今日の小網代●●●

◆6月4日(日)

エノキテラスで軽食を取りつつ、時を待つ。
 午後の日差しは強かったのに、夕方6時を過ぎると肌寒いほどだ。
 ウグイス、ガビチョウ、ホトギスの声もだんだん聞こえなくなる。
 空の明るみが少しずつ消えて、1番星2番星と数えるうち7時となる。
 われら一行も移動開始。
 シュレーゲルアオガエルのコロロ、コロロというドラミングが谷に響き渡り、今日のホタルはどうだろうと期待感がいや増す。
 ヤナギテラス手前の草原にメスのホタルだろうか、ポツリポツリと光っている。と見ると川沿いにも、すぐそばにも飛び交うオスのホタルが出始める。
 5月29日頃が出現のピークだろうと言われていたが、今日も想像したより多く出てくれた。ラッキーである。
 ヤナギテラスでは、ヘイケボタルも出始めた。
 夜間解放は今日までだが、ヘイケボタルのピークはいつ頃になるのだろうか？
 今年は引橋入口から白髭側入口まで移動が自由なので、ゆっくりと登りながら観察できる。
 まん巾湿地の手すりのある辺りが奥行があって両岸を見通せるからか、最も多く観察でき、しばらくうっとりとして見とれる。
 月齢10日の月が、ボードウォーク上に影を作る。ホタルの光もはっきり見え、懐中電灯をつけなくても歩けるほどのちょうどいい明るさ。
 上流付近までホタルの光の明滅に囲まれて、大満足。
 光に導かれて新しい命がめばえ、来年も再来年もホタルはこうして命をつなげていく。
 どうかいつまでも、たくさんの人間の子供たちがこの感動を体験できますように。

A.M

◆5月29日(火) ホタルの夕べ

夕方の静かな森へ入り、眼耳鼻舌身意を開放しながらのんびりと歩を進めると、いろいろなものが感じられます。

小さな優曇華の花。ふわふわの大きな毛虫。カラスの足元をリスがチョロチョロ登ります。カワトンボが静かに舞っています。

昼間の気温が落ち着いて穏やかなエノキテラスに腰掛けていると、流れゆく薄雲をとおして三日月が見下ろし、赤い夕焼けが次第に薄れ、一番星のジュピターがぼつんと輝きだします。

もうすこし待って、麦星と真珠星が加わるころ、腰を上げて森の上流を目指して歩き始めます。

河口の葦原が終わって森の木々が黒々とシルエットになると、ひとつ、またひとつとホタルが飛び始めました。

あちらにも、こちらにも、どんどん森の奥へと進むにつれて、飛び交うホタルの数もどんどん増えて、ちかく遠く、それぞれに、またまとまってピカピカと賑やかに舞っています。

しばし見とれながら森を抜けると、空にもたくさんの星が負けじとかがやいています。あの星のどこかにもホタルがいるのかしらと時空の不思議を思わずにいられますでした。

N.T



H.N 画

こあじろの森くらぶ NEWS

◆スタッフの活動

- | | |
|---------------|---|
| 2017.03.26(日) | 10:00～ スタッフ会議
(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
午後通信印刷・発送 |
| 2017.04.02(日) | 水辺公園遠足 10:00YRP 野比
午後の交流会下見は季節が早すぎたため、4月22日(土)に改めて行います。 |
| 2017.04.18(火) | 野内眞理子さん植物画展、搬入・設営 三浦市勤労市民センター
13:30 三崎口駅前集合 |
| 2017.04.22(土) | 10:00～ 三崎口駅前 4/29 第6回交流会下見
14:00～16:00 スタッフミーティング 南下浦市民センター集会室(額縁作成) |

- 2017.04.29(土・祝) 第6回交流会 10:00 三崎口駅前
終了後野内眞理子さん植物画展、撤収
(三浦市勤労市民センター)
- 2017.05.14(日) 13:00～ スタッフミーティング
(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.05.29(月) 14:00～ スタッフ会議
ホテル観察会参加 16:30 三崎口駅前集合
- 2017.06.04(日) ホテル観察会参加 16:30 三崎口駅前集合



植物画展示風景

●●● 会員更新のお願い ●●●

2017.06.11(日) スタッフミーティング 総会資料打合せ、会場装飾準備

四半世紀ほど前のこと、小網代の森を守る会の会員の皆さまにお願いして県や市に年賀状を送っていました。中に「小網代の森はいいところだからのこしてください」と書いた小学生のハガキが印象に残っています。

幼い願いは天に通じ、森は保全され、一つの目的に向かってともに年を重ねてきた、かけがえのないお仲間が残りました。こあじろの森くらの活動を通じて顔を合わせ森の空気に包まれるとき、一番の喜びを感じています。自然を楽しみつつ静かに見守り続ける、未来の森のために、私たちのような存在はなくてはならないものだと考えています。

これからもご一緒にそして元気に、こあじろの森くらの活動を続けていきたいと思ひます。

会費の払込票を同封させていただきました。

ぜひ、会員の更新をお願いいたします。

年会費 1000 円(7 月～6 月 入会金不要)

郵便振替 記号番号 00290-6-137203

加入者名 こあじろの森くらぶ

●●● 第2回 こあじろの森くらぶ総会のお知らせ ●●●

小網代の森を守る会、小網代の森と干潟を守る会からこあじろの森くらぶに名前を変えて2年が過ぎました。

2016年7月から2017年6月までのご報告をいたします。会場装飾も楽しんでいただけるように工夫を凝らしています。どうぞご参加いただき、くらのこれからのためにご指導下さいませようお願いいたします。

日時 2017 年 8 月 27 日(日) 13:30～14:30

会場 南下浦市民センター 2階研修室(三浦海岸駅徒歩1分)

※ 天候が良ければ、議事終了次第に森歩きを楽しみたいと思ひます。秋の気配が漂い始めた森の空気は不老不死の妙薬、胸いっぱい吸い込んで、リフレッシュしましょう！

●●● ご寄付ありがとうございます ●●●

廣川ひで子様

ご寄付をいただきました。大切に使用させていただきます。

こあじろの森くらぶ通信 No.7

2017 年 6 月 25 日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地：〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田 1528-75

連絡先：info@mori-club.com (高橋)

046-889-0067 (仲澤)

URL : <http://www.mori-club.com>

年会費：1000 円 (7 月～6 月 入会金不要)

郵便振替 こあじろの森くらぶ 00290-6-137203